

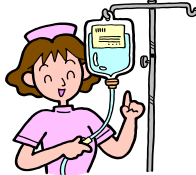
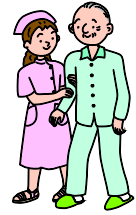


～入院治療計画書～
経尿道的 前立腺切除の手術を受けられる患者さまへ(1)

H 年 月 日

月日 経過	入院日	手術日(手術前)	手術後
達成目標	手術に同意している 手術の準備が完了している 転倒・転落の予防が理解できる	安全に手術を受けることができる	38.0℃以上の発熱がない 転倒・転落しない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査	いつも飲んでる薬を確認します。 今日はいつも通りにお飲みください。 夜、眠れない場合は眠剤をお渡しします。 	手術は ・ ・ からです。 朝、便が出なければ便を出す坐薬を使います。 午前からの手術は手術室で点滴をします。 午後からの手術は10時頃に点滴をします。 手術着に着替え、弾性ストッキングをはいて下さい。 体から外せるものはすべて外して下さい。 手術室へは歩いて行きます。 寝巻き・T時帯・バスタオルをベッドの上にご用意下さい。 朝6時にいつも飲んでる薬を飲みます。 (ただし、糖尿病の薬は本日は飲めません) 昼と夕の薬は飲めません。	手術が終わりましたらベッドで部屋に戻ります。 点滴は明日の20時頃まで続けていきます。 尿の管が入っています。 どちらかの足に尿の管がテープで固定されています。 固定されている足を動かすと尿の管が動き、痛んだり出血しやすくなります。  痛みが強い場合は無理をせず 看護師に相談してください。
活動・安静度	特に制限はありません。	特に制限はありません。	手術後はベッド上安静です。出血予防のため明日の回診までは、寝返りをしてもいいですが、管が固定されている足は曲げないようにしましょう。
食 事	()食となります。 糖尿病・心臓病・高血圧などある方は治療食となる場合があります。	朝6時から絶飲食です。 (飲んだり食べたりできません)	水分は手術後3時間目からとれますが寝ながら飲んでください。 食事は明日の朝までありません。
清 潔	爪を切りましょう。	朝の排便後シャワーをしてください。	
患者様およびご家族への説明 在宅支援復帰計画 総合的な機能評価	入院生活と手術について説明します。 手術に必要なものをご用意下さい。 (寝巻き・T時帯・バスタオル) 弾性ストッキングは看護師が用意します。	毎日、午前中に回診があります。 (土日・祝日もあります)	

病名、入院期間などは、現時点で考えられるものであり、治療・検査などを進めるにしたがって変わることがあります。

経尿道的 前立腺切除の手術を受けられる患者さまへ(2)

月 日	／	／ ～	／	／ ～
経 過	1日目	2～4日目	5日目	6日目～退院日
達成目標	尿の流出が良好である 38.0℃以上の発熱がない 術後の安静が保てる	おしっこの管が抜ける 尿がスムーズに出る 転倒・転落しない	尿がスムーズに出る 転倒・転落しない	尿がスムーズに出る 転倒・転落しない 37.5℃以上の熱がない
治療・薬剤 (点滴・内服) 処置・検査	朝、採血があります。 手術の時からおしっこの管が入っています。 水分はたくさんとるようにしましょう。 便が出にくい場合は、下剤をお渡しします。 便秘でいきみが強いと出血の原因にもなります。 点滴は20時頃まであります。 	管は回診時に抜けますが、抜ける日は主治医が決めます。 管が抜けたら、名前の書いてあるビンに、毎回おしっこをためていきましょう。(量や色を観察していきます) 泌尿器外来で尿波形(おしっこの出方)の検査があります。 午後におしっこに行きたくなったらナースステーションに来てください(術後4日目頃) 水分はたくさん飲むようにしましょう。 	 尿がスムーズに出て発熱がなければ退院となります。	
活動・安静度	朝食時から、座れます。 状態によって許可がない場合もあります。	回診後に歩行の許可がでます。 動くことによって、おしっこに血が混じったり、尿の血が濃くなることありますが、尿がきちんとであれば問題ありません。		
食 事	今日1日はお粥と柔らかいおかずの食事です。	普通食に戻ります。		
清 潔	朝うがいと顔を拭くタオルをお持ちします。 タオルで体を拭きます。看護師が手伝います。 尿の管が抜けるまで管の周囲を洗浄します。	タオルを配りますので、それからだを拭きましょう。 おしっこの管が抜けましたら、シャワーができます。		
患者様およびご家族への説明 在宅支援復帰計画 総合的な機能評価	毎日、午前中に回診があります。 土日・祝日もあります。		退院計画書に沿って説明をします。 水分を多くとりましょう。 お酒は医師の許可があるまではやめましょう 自転車・バイクに乗る場合は医師に相談しましょう	